

先 参 2	考 4	資 1	料 1	3 9	診 2	調 4	組 .	技 1	-	2	-	1	1 3
-------------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	---	---	---	---	--------

平成24年改定における胸腔鏡下・腹腔鏡下手術の 保険導入検討に当たっての取扱いについて（案）

1. 背景

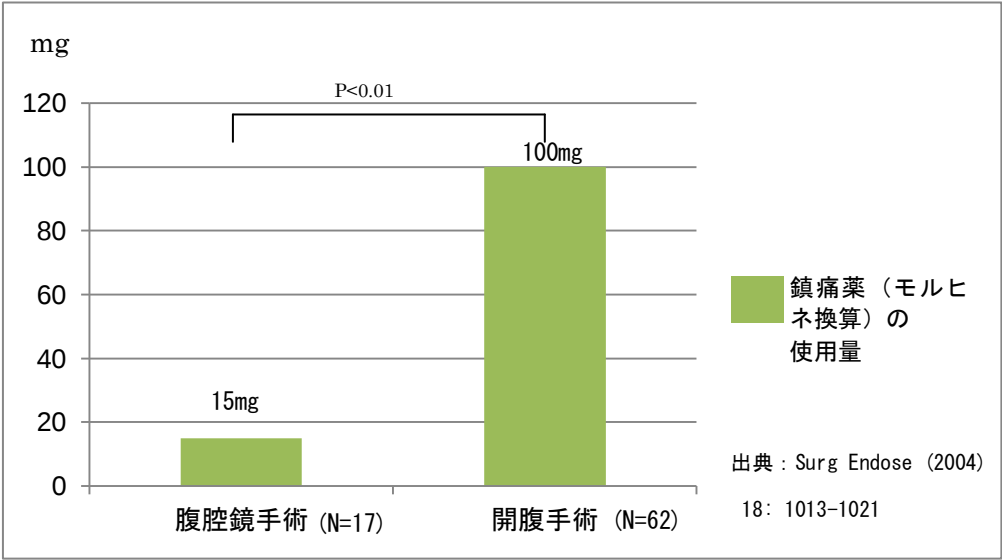
（1）新たな腹腔鏡下等手術の保険上の取扱いについて

- 既に保険適用されている腹腔鏡下手術以外の手術で腹腔鏡を用いる場合については、その都度、当局に内議し準用が通知されたもののみを保険給付の対象としている。（胸腔鏡についても同様）
- 上記以外の新たな腹腔鏡下・胸腔鏡下（以下、「腹腔鏡下等」という。）手術については、診療報酬調査専門組織・医療技術評価分科会（診療報酬改定時の保険導入について）又は先進医療専門家会議（評価療養の適用について）において、手術ごとに検討している。

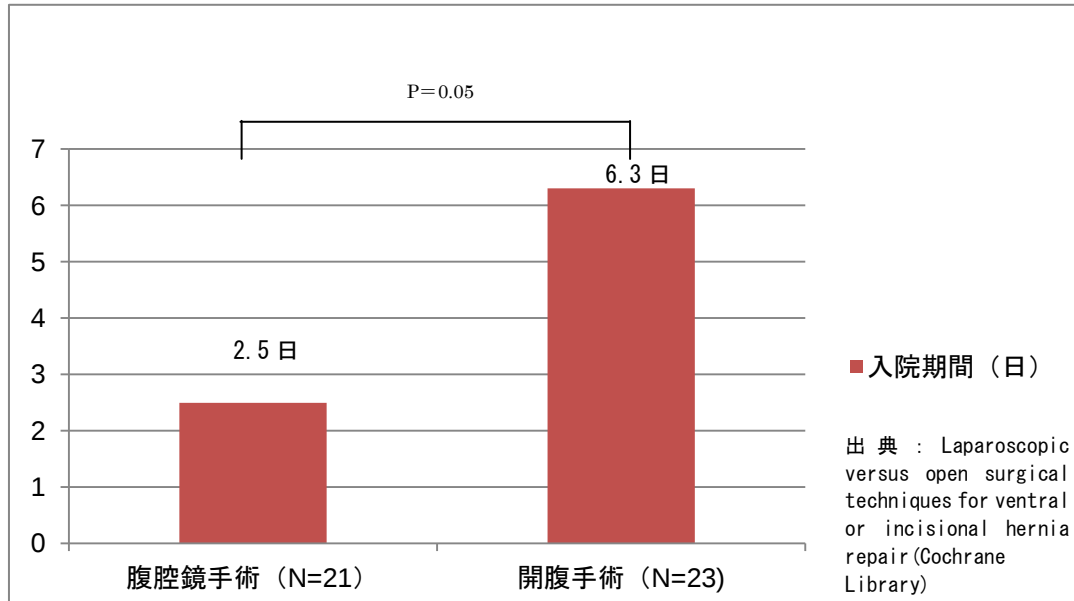
（2）腹腔鏡下等手術の現状について

- 近年の内視鏡外科手術の普及により、一部の手術を除き、腹腔鏡下等手術は従来からの開腹・開胸（以下、「開腹等」という。）手術と同等またはそれ以上の有効性・普及性を有する成熟した技術として扱っても差し支えないとの指摘がある。

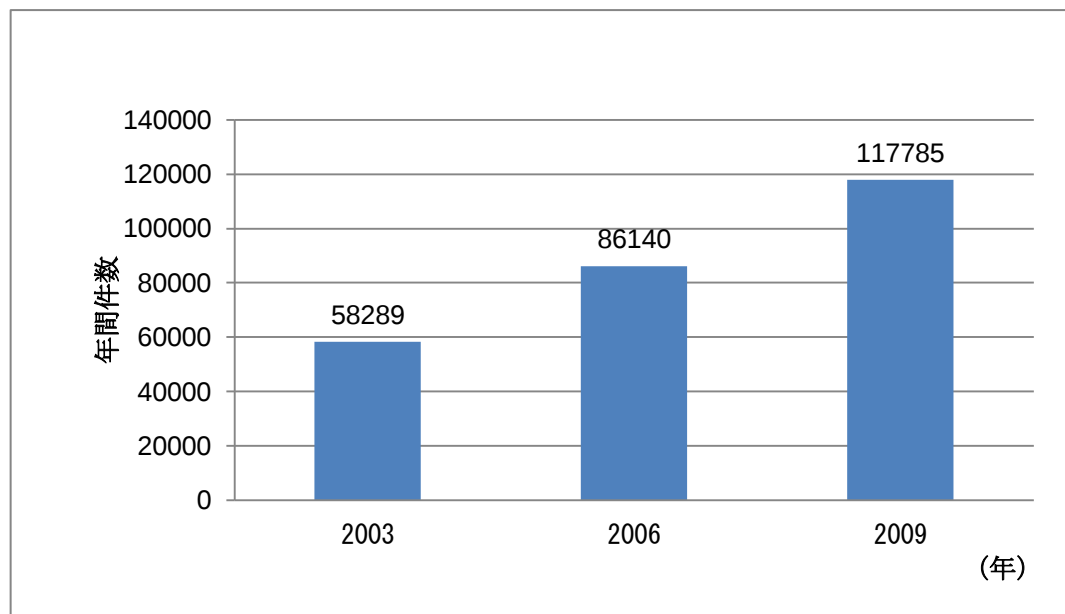
【参考1】消化性潰瘍穿孔手術後の鎮痛薬使用量の比較



【参考 2】鼠径又は腹壁ヘルニア術後の入院期間の比較



【参考 3】腹腔鏡下手術等の内視鏡外科手術総症例数の推移



出典：日本内視鏡外科学会、日本産科婦人科内視鏡学会、及び日本 Endurology・ESWL 学会

第 10 回 内視鏡外科手術に関するアンケート

先 参 2	4	.	1	.	1	3 料 9	診 調 組	技 - 2 - 1
							2 4 . 1 . 1 3	

2. 平成 24 年改定における対応（案）

平成 24 年改定における新たな腹腔鏡等手術の保険適用については、当該手術の普及状況や有用性等の現状を踏まえ、安全性に配慮しつつ、腹腔鏡等手術の技術度区分等に応じた以下のような取扱いにより対応してはどうか。

（１）考え方

- ① 既に開腹等手術として保険適用されている手術に腹腔鏡等を用いる場合のうち、一定の要件をみたす手術について保険適用とする。【検討対象の重点化】
- ② ①とともに、安全性の観点から腹腔鏡下等手術の施設基準について見直すこととする。【施設基準の設定・見直し】

（２）具体的な対応

① 検討対象の重点化

ア. 安全性・普及性等の観点から個別に評価を行うべき腹腔鏡下等手術（以下の A）、B）に該当する手術）については、従前の診療報酬改定時の取扱いと同様、個別技術毎に診療報酬調査専門組織・医療技術評価分科会又は先進医療専門家会議において保険適用についての検討を行う。

A) 外科系学会社会保険委員会連合（以下、「外保連という。」）
試案第 8 版において、技術度区分が E 群である手術

B) 先進医療として行われている手術、及び先進医療として行われている手術に関連すると考えられる手術

イ. 上記ア. 以外の外保連試案第 8 版に掲載されている一定の技術度の腹腔鏡下等手術（技術度区分 C 群及び D 群の手術）について、その開腹等手術が保険適用されている場合は、原則として保険適用を行う。

※具体的な手術名は別紙（技-2-3）参照

先 参 2	4	.	1	.	1	9	3 料	診 2	調 4	組 .	技 1	—	2	—	1	3
-------------	---	---	---	---	---	---	--------	--------	--------	--------	--------	---	---	---	---	---

② 施設基準の設定・見直し

上記①の対応も含めた今後の腹腔鏡下等手術の普及に合わせて、新たな手術のより安全な実施・普及を推進する観点から、既に保険適用されている腹腔鏡下等手術で、特に施設基準を設けていないものも含めた腹腔鏡等手術全般について、下記のような基本的な施設基準を設けることとする。

（腹腔鏡下等手術における施設基準）

- A. 緊急事態に対応するための体制その他当該療養を行うにつき必要な体制が整備されていること。
- B. 当該保険医療機関内に当該療養を行うにつき必要な医師が配置されていること。
- C. 当該手術の一年間の実施件数を当該保険医療機関の見やすい場所に掲示していること。
- D. 手術を受けるすべての患者に対して、それぞれの患者が受ける手術の内容が文書により交付され、説明がなされていること。

原則として保険適用する胸腔鏡下・腹腔鏡下手術について

診 調 組 技 - 2 - 2
2 4 . 1 . 1 3

- 開胸・開腹手術が既に保険適用されている。
- 外保連試案第8版に胸腔鏡下・腹腔鏡下手術が掲載されている。

上記2点をいずれも満たすもののうち、外保連試案第8版における技術度区分がC群又はD群で、かつ先進医療として実施されていない手術(下図の○)を原則保険適用とする。

※ 技術度区分は、外保連試案第8版による。

	技術度区分 C群	技術度区分 D群	技術度区 分E群
<u>I. 先進医療として実施されている手術</u> (関連する手術も含む)	(個別に検討)	(個別に検討)	(個別に検討)
<u>II. 医療技術評価分科会に提案されている手術</u>	○	○	(個別に検討)
<u>III. 上記、I 及び II のいずれにも該当しない手術</u>	○	○	(個別に検討)

※技術度区分E群の手術や、先進医療で実施されている手術(関連すると考えられる手術も含む)は、従来通り、医療技術評価分科会や先進医療専門家会議で保険適用についての検討を行う。

今回の議論の対象となる手術一覧

診 調 組 技 - 2 - 3
2 4 . 1 . 1 3

	ア. 従来通り個別に評価を行う手術 A) 外保連試案第8版における技術度区分がE群の手術		
No.	外保連試案第8版に掲載されている手術名	医療技術評価分科会への提案における手術名	先進医療における名称
1	子宮悪性腫瘍手術(腹腔鏡下)	-	腹腔鏡下子宮体がん根治手術

今回の議論の対象となる手術一覧

診 調 組	技 - 2 - 3
2 4 . 1 . 1 3	

ア. 従来通り個別に評価を行う手術 B) 先進医療として行われている手術、及び先進医療として行われている手術に関連すると考えられる手術			
No.	外保連試案第8版に掲載されている手術名	医療技術評価分科会への提案における名称	先進医療における名称
1	直腸脱手術(腹腔鏡下)	—	腹腔鏡下直腸固定術
2	スリーブ状胃切除術(腹腔鏡下)	—	腹腔鏡下胃スリーブ状切除術
3	膵体尾部腫瘍切除術(脾温存)(腹腔鏡下)	—	腹腔鏡補助下膵体尾部切除術又は核出術
4	膵体尾部腫瘍切除術(脾摘を伴う)(腹腔鏡下)	—	腹腔鏡補助下膵体尾部切除術又は核出術
5	胃バンディング術(腹腔鏡下)	—	(※)
6	重症肥満に対する胃バイパス術(腹腔鏡下)	—	(※)

※ 先進医療における手術に関連すると考えられる手術

今回の議論の対象となる手術一覧

診 調 組 技 - 2 - 3
2 4 . 1 . 1 3

	イ. 原則として保険適用を行う手術（１） （既に開腹等手術が保険適用されており、外保連試案第8版でC難度及びD難度の手術）		
No.	外保連試案第8版に掲載されている手術名	医療技術評価分科会への提案における名称	先進医療における名称
1	ヘルニア手術（腹腔鏡下）・大腿ヘルニア	－	－
2	ヘルニア手術（腹腔鏡下）・腹壁癒痕ヘルニア	腹腔鏡下腹壁癒痕ヘルニア手術	－
3	横隔膜縫合術（腹腔鏡下）	－	－
4	横隔膜縫合術（胸腔鏡下）	－	－
5	胸腺摘出術（胸腔鏡下）	－	－
6	胸壁良性腫瘍摘出術（胸腔鏡下）	－	－
7	子宮腔上部切断術（腹腔鏡下）	－	－
8	縦隔腫瘍摘出術（胸腔鏡下）	－	－

今回の議論の対象となる手術一覧

診 調 組	技 - 2 - 3
2 4 . 1 . 1 3	

	イ. 原則として保険適用を行う手術（２） （既に開腹等手術が保険適用されており、外保連試案第8版でC難度及びD難度の手術）		
9	縦隔切開術（胸腔鏡下）	-	-
10	食道下部迷走神経切断術（幹迷切）（腹腔鏡下）	-	-
11	食道憩室切除術（胸腔鏡下）	胸腔鏡下食道憩室切除術	-
12	心膜開窓術（胸腔鏡下）	-	-
13	腎嚢胞切除術（腹腔鏡下）	-	-
14	造脛術（骨盤腹膜利用）（腹腔鏡下）	-	-
15	腸回転異常症手術（腹腔鏡下）	-	-
16	腸閉鎖症手術（腹腔鏡下）	-	-
17	尿失禁手術（腹腔鏡下）	-	-

今回の議論の対象となる手術一覧

診 調 組	技 - 2 - 3
2 4 .	1 . 1 3

	イ. 原則として保険適用を行う手術 (3) (既に開腹等手術が保険適用されており、外保連試案第8版でC難度及びD難度の手術)		
18	汎発性腹膜炎手術(腹腔鏡下)	-	-
19	小腸切除術(悪性腫瘍)(腹腔鏡下)	-	-
20	副腎悪性腫瘍摘出術(腹腔鏡下)	-	-
21	胃上部血行遮断術(腹腔鏡下)	腹腔鏡下胃上部血行遮断術	-
22	拡大胸腺摘出術(胸腔鏡下)(重症筋無力症に対する)	重症筋無力症に対する胸腺摘出術(胸腔鏡による)	-
23	胸管結紮術(乳び胸手術)(胸腔鏡下)	-	-
24	結腸瘻造設術(逆流防止弁付加)(腹腔鏡下)	-	-
25	結腸瘻造設術(腹腔鏡下)	-	-
26	後腹膜腫瘍切除術(腹腔鏡下)	-	-

今回の議論の対象となる手術一覧

診 調 組	技	－	2	－	3
2	4	.	1	.	1 3

	イ. 原則として保険適用を行う手術（４） （既に開腹等手術が保険適用されており、外保連試案第8版でC難度及びD難度の手術）		
27	食道筋層切開術（胸腔鏡下）	胸腔鏡下食道筋層切開術	－
28	肺切除術（１葉を超えるもの）（胸腔鏡下）	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術、区域切除術、リンパ節郭清を伴うもの／胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術 楔状部分切除1箇所	－
29	肺組織試験採取術（胸腔鏡下）	鏡視下腫瘍試験切除術	－
30	卵管形成術（腹腔鏡下）	－	－
31	胃空腸吻合術（腹腔鏡下）	腹腔鏡下胃空腸吻合術	－
32	後腹膜腫瘍試験切除術（腹腔鏡下）	鏡視下腫瘍試験切除術	－
33	試験開胸術（胸腔鏡下）	－	－
34	腫瘍試験切除術（鏡視下）	鏡視下腫瘍試験切除術	－
35	縦隔組織試験切除術（胸腔鏡下）	鏡視下腫瘍試験切除術	－

今回の議論の対象となる手術一覧

診 調 組 技 - 2 - 3
2 4 . 1 . 1 3

	イ. 原則として保険適用を行う手術（5） （既に開腹等手術が保険適用されており、外保連試案第8版でC難度及びD難度の手術）		
36	骨盤内リンパ節群郭清術（腹腔鏡下）	-	-
37	精索静脈瘤手術（腹腔鏡下）	-	-

今回の議論の対象となる手術一覧

診 調 組	技 - 2 - 3
2 4 . 1 . 1 3	

	(参考) 外保連試案8版に腹腔鏡下等手術が掲載されているが、開腹等手術が保険導入されていないもの(保険適用の議論の対象としない)		
No.	外保連試案第8版に掲載されている手術名	医療技術評価分科会への提案における名称	先進医療における名称
1	胸膜癒着焼灼術(胸腔鏡下)	-	-
2	仙骨子宮神経切断術(腹腔鏡下)	-	-
3	仙骨子宮靱帯切断術(腹腔鏡下)	-	-
4	胆嚢経胆管結石摘出術(腹腔鏡下)	-	-
5	停留精巣摘出術(腹腔鏡下)	-	-
6	大腸全切除術(腹腔鏡下)	-	-

腹腔鏡等手術における施設基準

- 現在、腹腔鏡下等手術について、施設基準を設けているものには、以下の例がある。

① 第10部手術通則第5号及び第6号の施設基準

特掲診療料の施設基準等（抄）

（平成22年3月5日 厚生労働省告示第73号）

第十二 手術

二 医科点数表第2章第10部手術通則第5号及び第6号並びに歯科点数表第2章第9部手術通則第4号に掲げる手術の施設基準

- (1) 緊急事態に対応するための体制その他当該療養を行うにつき必要な体制が整備されていること。
- (2) 当該保険医療機関内に当該療養を行うにつき必要な医師が配置されていること。
- (3) 当該手術の一年間の実施件数を当該保険医療機関の見やすい場所に掲示していること。
- (4) 手術を受けるすべての患者に対して、それぞれの患者が受ける手術の内容が文書により交付され、説明がなされていること。

対象となる腹腔鏡下等手術：

- ・ 胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術
- ・ 胸膜肺切除術（胸腔鏡によるもの）
- ・ 胸腔鏡下膿胸腔搔爬術
- ・ 食道腫瘍切除術（胸腔鏡または腹腔鏡によるもの）
- ・ 腹腔鏡下食道裂孔ヘルニア手術

外保連試案第8版における手術の 技術度区分について

手術技術度	対応する身分	経験年数
A	初期臨床研修医	1
B	初期臨床研修修了者	5
C	基本領域の専門医	10
D	Subspecialty領域の専門医もしくは基本領域の専門医更新者や指導医取得者	15
E	特殊技術を有する専門医	15